



自治連だより

第42号

平成31年3月8日

発行：伊丹市自治会連合会

編集：広報委員会

地域自治組織の取り組みについて ～30年度より新たに3つの小学校区でスタート～

意見交換の様子



稲野小学校地区自治協議会
緑丘小学校地区自治協議会
池尻小学校区まちづくり協議会

-地域自治組織とは？-

地域自治組織とは、概ね小学校区を活動範囲として、範囲内に居住される全ての市民が活動に参画できるように、規約等を整備した組織です。

伊丹市では、平成27年度より取り組みを進めており、昨年6月には「地域自治組織の設立等に関する条例」が施行されました。

従前より取り組まれている伊丹小学校区、笹原小学校区に加え、今年度より新たに3つの小学校区（稲野・緑丘・池尻）で取り組みがスタートし、現在市内では5つの小学校区で地域自治組織が設立されています。

今回、稲野小学校地区自治協議会の岩田会長に話を伺いました。

-地域自治組織の取り組み内容について教えてください-

岩田：平成29年度に地域自治組織検討委員会を立ち上げ、1年間の準備期間を経て、平成30年度の総会で稲野小学校地区自治協議会として組織改正を行いました。

平成30年度では、地域ビジョンの策定に向けて、地区の全住民を対象としたアンケートや、3回の意見交換会、まちあるきを行い、地域ビジョンを作成しています。



稲野小学校地区自治協議会
岩田会長

-取り組まれてみて、いかがでしょうか-

岩田：アンケートの実施や意見交換会等、例年になかった事業ですので、当初は心配もありました。実際、大変な部分もありましたが、普段地域行事にいらっしやらない方の参加や、役員からは聞かれない意見・アイデアをいただきました。実際に一部ではアイデアの実施に向けて検討に取り掛かっています。

-今後の活動方針等についてお聞かせ下さい-

岩田：平成31年度総会で地域ビジョンを採択した後、地域ビジョンに基づいた事業を行っていきます。手探りの部分もありますが、できるだけ多くの地区住民に参加していただけるように取り組んでいきます。



まちあるきの様子

緑丘小学校区・池尻小学校区での取り組みについて

緑丘小学校区、池尻小学校区においても、昨年5月の総会で地域自治組織の設立が承認されました。池尻小学校区では、稲野小学校区と同様に1年でビジョンを作成、緑丘小学校区では2年をかけてビジョンを作成する予定です。また、地域自治組織については昨年9月1日発行の広報伊丹にも特集記事が掲載されています。

地域自治組織の取り組みについては、google等の検索サイトで「地域自治組織の取り組みについて」と検索いただくか、QRコード（右上）から、広報伊丹の特集記事については、google等の検索サイトで「これからの地域のカタチ」と検索いただくか、QRコード（右下）から、それぞれ市ホームページの該当ページにアクセスできます。※QRコードはスマホ等で読み取って下さい。



西鈴原自治会「NSCP」

(西鈴原コミュニティプロジェクト)

の取り組み

鈴原ブロック 西鈴原自治会

○自治会加入世帯：342世帯

(平成30年4月1日現在)

○会長：原田 明さん

インタビューにご協力いただいたNSCPメンバーの皆様

左写真 後列左から 濱田さん、高林さん、藤原さん、小比賀さん、山本さん
前列左から 中田さん、原田会長、有賀さん

-NSCPとは？-

西鈴原自治会内に設けられた有志メンバーによる企画運営機関。平成29年4月に発足、現在メンバーは13名。月に一度定例会を開き、日頃の自治会運営や行事等様々な提案やアイデアを出している。

西 (N) 鈴原 (S) コミュニティ (C) プロジェクト (P)と名付け、それぞれのアルファベット頭文字から『NSCP』と呼んでいる。

自治会はおもしろいことを共有するつながり

-「NSCP」を立ち上げたきっかけは-

原田：役員会に役員の娘さん（その後メンバーとなる）が来て、地域活動をやりたいと話してくれたのが最初のきっかけです。ちょうどその時、会長2年目でした。1年会長をやって、会長に負担が集中し、このままでは自治会は長く続かないと思い、運営をサポートしていくような集団を作る必要性を実感していました。その危機感を役員会でも率直に話して、手をあげてくれたのが濱田さんと高林さんで、その後徐々にメンバーが増えていきました。

-自治会の担い手不足は自治会共通の課題になっています-

原田：情報の出し方や共有さえうまくやれば人は集まるのではないかと感じています。NSCPではLINE（ライン※）を利用してメンバー間のやり取りをしているのですが、フラットでオープンな意見交換ができます。他人事ではなく、意見を言え、関わることで活動に主体的になれているのではないかと思います。今まで自治会のみなさんは、役員がまわってくることを恐れているように見えたが、自治会はおもしろいことを共有するつながりだという風に変えたいと思っています。

※LINE（ライン）とは？

SNSの一種で、登録者同士や同じグループのメンバー内で気軽にメッセージを送り合える、パソコンやスマートフォンのツール（無料で利用可）

-メンバーのみなさんはNSCPの一員として活動してみようですか？-

中田：地域で顔が見える関係になったのは大きいですね。災害時にLINEで情報共有できたのは本当に助かりました。強制するつながりではなくゆるくやっていたければ。

濱田：NSCPで防災キャンプや国会議事堂ツアー等のアイデアを形にできてきました。自治会活動を継続していく一助になればと思います。

高林：会長の「うちの町内はポテンシャルのある良い人ばかり。みんなで集えばきっといろんな事ができるはず。今は機会がないだけ。そんなきっかけを作れる自治会にしたい」の言葉に共感して活動に参加しました。いつか町全体で盛り上がる「何か」を作りたいですね。

-今後の活動について教えて下さい-

原田：企画したことをやっていく中で、メンバーの好きなこと、得意なことが見えてきました。そういうことを上手く活用してこれからも活動していけばおもしろくなるのでは。急に広げることはできないが、企画に参加してくれた住民に声をかけるなどして、メンバーを増やしていければと思います。



《企画の目的》 第2回 参加希望調査（最終）

・当自治会から国会議員が誕生した事を機に、社会見学の一環として「国会議事堂見学」を行うという企画を立ち上げた。但し、特定の個人、政治団体を支援するものではない。

《日程》

・2019年3月27日（水）～3月28日（木）

平成30年度全国自治会連合会東京大会 ～榎木会長が「全国自治会連合会会長表彰」を受賞～



平成30年11月14日（水）、メルパルクホール（東京都港区）において平成30年度全国自治会連合会東京大会が開催され、榎木会長が「全国自治会連合会会長表彰」を受賞されました。今回の受賞は当連合会役員の外、兵庫県連自治会役員を務められ、住民自治組織の発展に貢献したことを評価されたものになります。



東京大会では、東京都において2020年にオリンピック・パラリンピックの開催を控えていることから、東京都民踊連盟による「東京五輪音頭」や室伏広治氏（2004年アテネオリンピック男子ハンマー投金メダリスト）の講演等が行われ、大いに盛り上がりました。また、東京都墨田区、足立区、立川市の各自治会連合会からは自治会の加入促進等に向けた活動・事例発表があり、全国の自治会関係者が情報を共有する有意義な場となりました。

伊丹市自治会連合会 新年互礼会開催報告

平成31年1月9日（水）、スワンホールにおいて伊丹市自治会連合会「新年互礼会」を開催しました。藤原市長を始め多くのご来賓に出席いただき、総勢170名の皆さんと新年を祝うことが出来ました。

新年のお祝いはもとより、自治会長、自治会役員の方々の親睦を深めると共に、日頃の自治会活動において有益な情報交換の場として、皆さん大いに盛り上がっていました。特に、地域自治組織が昨年より本格的に展開が始まった事も、市民が主体となったまちづくりに向け決意を新たに、一年の第一歩を踏み出した思いの一日となりました。

（総務委員長 市川 伊久雄）



“各地域の活動”を市HPや市Facebookに掲載しています。

地域活動を広報するため、市HP（ホームページ）及び市Facebookに各地域の活動を掲載しています。随時受付をしておりますので、掲載を希望される方は、市まちづくり推進課（市役所1階、TEL：780-3533）まで情報のご提供をお願いします。※掲載対象は、自治会・地区社協等の地域団体の活動や広報誌となっております。個人の活動はご遠慮下さい。

市HP（ホームページ）へのアクセスは

伊丹 各地域の活動

検索

市Facebookへのアクセスは

伊丹 Facebook

検索

桜ヶ丘自治会で「避難所HUG」訓練が実施されました。

平成30年1月14日（土曜日）、桜ヶ丘自治会主催（伊丹小学校）の「HUG訓練」が、みホールで開催され、「伊丹防災の会」の協力により進められました。「避難所HUG」は、避難所運営を考えるためのひとつの手段として、静岡県が開発した避難所運営を模擬体験するシステムです。模擬的に印刷された「小学校校庭」、「本館」の見取り図を「避難所」として、あらゆる事情、状況を示したカード（250枚）を「被災した避難者」として立てて、即座で避難所を運営するのです。6人1組にグループに分かれた参加者は、冬の寒、暗闇、大規模地震が起き、電気、水道がストップしているという状況のもと、次々と「避難所」に来る「被災した避難者」を避難所に受け入れる。また、学校いらない避難所という状況など避難所運営を模倣体験しました。グループ発表は、参加者から「避難所を運営するときには、避難所から様々な想定が必要だ」といった感想などが聞かれました。



【写真上】市HP（ホームページ）での掲載

【写真下】市Facebookでの掲載



三役・各委員会よりメッセージ

今年度を振り返って

自治会長はじめ役員の皆様、自治会員の皆様には、平素から地域活動にご理解・ご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年は大阪北部地震や西日本豪雨、台風21号等、多くの災害が発生しました。自治会や地域のつながり、近隣住民の助け合いの重要性を感じることの多い1年だったのではないかと思います。

また、伊丹市が進める「地域コミュニティ基盤強化事業」では、従前から取り組んでおられる伊丹小学校区、笹原小学校区に加え、今年度は新たに3小学校区（稲野・緑丘・池尻）で地域自治組織が立ち上がりました。当連合会におきましても、行政その他関係機関と協議、連携し、事業推進のため取り組んでいきたいと考えております。

最後になりますが、引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



会長 榎木 光夫
(天神川ブロック・鶴田自治会長)



【副会長】市川伊久雄
(総務委員長)
(鈴原ブロック・西御願塚自治会長)

研修会や交流会等の事業を中心に活動してきた今年度も無事終わろうとしています。

管外研修会では鳥取地震の被災地を訪問し、改めて災害時の備えについて学びました。自治会研修会では、伊丹市が現在進めている「地域自治組織」をテーマに実施しました。

これらの事業が少しでも皆様のお役に立てていれば幸いです。



【副会長】長澤孝
(広報委員長)
(池尻ブロック・西野西自治会長)

広報委員会では、自治会の魅力や地域活動の大切さ等を広報誌「自治連だより」（年3回発行）で発信しています。

地域活動のPRを通じて、地域コミュニティが活発になることを期待していますので、皆様の地域でも良い取り組みがあれば、是非、情報提供をお願いします。



【副会長】矢野天正
(環境委員長)
(昆陽里ブロック・日生住宅自治会長)

今年度は食品ロスに取り組み少しずつ改善してきていますが、現在伊丹市では一人当たり約17,000円の食べ物が捨てられています。引き続き食品ロス・ごみ減量にご協力よろしくをお願いします。

また、雨水貯留タンクや生ごみの堆肥化容器購入の助成制度もありますので是非ご活用下さい。



【副会長】伴博夫
(福祉委員長)
(有岡ブロック・湊町自治会長)

今年度は各ブロックのボランティアの現状・課題についての情報交換や滋賀県守山市吉身東町自治会の子ども食堂「ひがしっこ」の視察研修を通して、活発な意見交換を行うことができました。

委員会を通じた各ブロックのネットワークが、今後の自治会活動の力になれば幸いです。



【副会長】宮内正次
(生活安全委員長)
(笹原ブロック・笹北自治会長)

昨年は大阪北部地震や西日本豪雨、台風と多くの災害に見舞われました。体育の日の集いでは防災についてのアンケート調査を行い多くの方にご協力をいただき有難うございました。

災害時においては、住民一人一人の「自助」と地域の「共助」による取り組みが減災へとつながり安全・安心なまちづくりになると考えます。



【会計】佐々木憲治
(伊丹ブロック・光明町自治会長)

この時期、会計は収支決算を取りまとめ、会計監査の後、総会にて報告となります。適正な予算運用はもちろんのこと、ビジョンと予算執行に見合った成果が得られたかの検証が大事であります。

次年度の計画に、会員の皆様のご意見も頂戴したいと思います。ご連絡をお待ちしています。



【事務局長】岩田武司
(稲野ブロック・千僧自治会長)

今年度は、稲野・緑丘・池尻の3小学校区で新たに地域自治組織が立ち上がり、取り組みが広がりがつあります。

当連合会においても、地域自治組織の取り組みを見据え、行政や各関係機関と協議・連携を行いながら効率的・機能的な組織となるよう検討を進めてまいります。

自然災害への備えにぜひご加入を！
兵庫県住宅再建共済制度 (=フェニックス共済)

区分	負担金	被害認定	給付金
住宅再建共済	年額5,000円	半壊以上	最高600万円
	年額500円追加	一部損壊 ※2	最高25万円
家財再建共済 ※1	年額1,500円	床上浸水以上	最高50万円

定額給付で安心！
フェニックス
ウイング
ほほえみ

※1 住宅再建共済と家財共済の両方にご加入の場合、最大500万円負担金が割り引きになります。
※2 損害割合10%以上

お問い合わせ先 **フェニックス共済 検索**
(公財)兵庫県住宅再建共済基金 ☎078(362)9400 (平日9時～17時)
阪神北摂民局フェニックス共済担当 ☎0797(83)3122 (平日9時～17時)